

## 15. 教育環境の整備

### 1) 看護実践開発室等の整備

#### (1)看護シミュレーション教育環境の強化・充実：看護実践開発実習室2・3の整備

看護学部には、実践的な看護技術習得のための演習等を行うスペースとして8つの実習室（看護実践開発実習室）があるが、校舎建築から20年近くが経過し老朽化が進んでいることや、学生数が増え活用方法が変化してきたことで、施設設備に不具合な部分が生じてきており、5年計画で各実習室設備等の整備を行っている。その2年目となる今年度は、シミュレーション教育を行う際に最も使用頻度の高い看護実践開発実習室2と3の整備に取り組んだ。その内容は下記のとおりである。

##### ①看護実践開発実習室2の整備

- ・ 看護実践開発実習室2の南側に耐震性のある間仕切りを設け、医療機器等の教材の保管場所と演習スペースを分離
- ・ 演習時の学生の反応を確認できるように看護実践開発実習室3との壁にマジックミラーの小窓を設置

##### ②看護実践開発実習室3の耐震化と実験室の整備

- ・ 1部屋当たり約10平米の模擬病室を2室整備
- ・ 模擬病室と実験室の間に鍵のかかる扉を設置
- ・ 看護実践開発実習室3の看護実践開発実習室2側の壁にマネキンの収納庫を設置
- ・ 整備した模擬病室の医療用アウトレットが機能するように整備

#### (2)安全で効果的な学内演習環境の整備：看護実践開発実習室1の整備

最も広く使用頻度の高い看護実践開発実習室1では、現状の課題を踏まえ、下記の改善を行った。

##### ①全身マネキン型のシミュレータやモデル人形の収納方法の改善

教育環境の整備に伴い増加した全身マネキン型のシミュレータやモデル人形の多くは、実習室の一角にベッドに寝かせた状態で保管していた。そのため、実習室全体を有効に活用できない、出し入れに苦勞する、通路が確保できず安全でないなどの課題があった。そこで、モデル人形収納ケース（4体用）を3台購入し、小スペースに出し入れしやすい形で保管できるようにした。

##### ②安全なオーバーベッドテーブルの配置

各ベッドに配置しているオーバーベッドテーブルは、高さ調節と固定がネジ式で、移動ロックがない古いタイプのもので、使用中にテーブルが急に下がったり動いたりするなど危険な場面が度々あった。そこで、現在、医療施設で多く使用されている安全性の高いタイプ、すなわちテーブルの高さ調節がレバー式で、移動ロックがついているものへ更新した。

#### (3)シミュレーション教育のための機器の充実

看護学部では、学生が知識と技術を統合して臨床に応用していく看護実践能力の育成を目指して、シミュレーション教育に力を入れている。これまで高機能シミュレータの導入や演習室の整備を行うとともに、看護学部シミュレーション教育プロジェクトチームを組織化し、人的資源の強化を行ってきた。今年度は、下記のとおりシミュレーション教育環境のさらなる充実を図った。

- ・ 質の高い心肺蘇生トレーニングのために「レサシアン with QCPR」「レサシアン ワイヤレススキルレポーター」各 1 台の追加購入
- ・ 助産看護教育の充実のため「助産シミュレーターフルセット」の購入
- ・ シナリオ内蔵型「多職種連携ハイブリッドシミュレータ SCENARIO」のレンタルの継続
- ・ 万能型看護実習モデル“八重”2体の購入

## 2) 大学院の整備

### (1) 院生スペースの利用方法の見直しおよび利用規則の策定

看護学研究科の学生数の増加に伴い、院生用の共用スペースの割り当てを見直し、C409とC410を博士前期課程フルタイム学生および博士課程(DNGL)1~3回生、C412を博士前期課程実践リーダーコース学生、C329を博士後期課程2回生以上および博士課程(DNGL)4・5回生、C415を院生全員が使用できるスペースと位置づけることにした。また、各部屋の名称を、C409:院生室1、C410:院生室2、C412:院生室3、C329:院生室4、C415:大学院自習室と定めた。

さらに、学生のニーズと現状の課題を把握し、共用スペースの整備を行うとともに、設置しているパソコン、キャビネットやロッカー、その他の機器の利用原則、共用スペース利用時の留意点などを利用規則として定め、資料を作成して、学生と教員への周知を図った。

### (2) 高度実践看護師としての実践力を育成するための機器・DVDの整備

博士前期課程専門看護師コースの学生が、変化する臨床現場に対応したケアとキュアの統合による高度な看護技術を修得できるように、下記のシミュレータ等を購入し、教育環境の充実を図った。

- ・ 教育用小型エコー(コンベックスプローブ)
  - ・ 胎児超音波診断ファントム
  - ・ ドプラ・外測陣痛Y字トランスジューサー
- また、下記の視聴覚教材を購入した。
- ・ 目で見る薬理学入門(全13巻)
  - ・ 現場で役立つ外国人患者とのコミュニケーション(全2巻)
  - ・ グリーフケア 悲嘆と向き合う人たち(全7巻)
  - ・ 子ども虐待における家族支援 ファミリーグループカンファレンスの実践(全2巻)

### (3) 研究環境の整備

学生の研究環境を整えるために、統計解析用ソフトウェアであるIBM SPSS Statistics Ver.25とAMOSを2セット購入し、C413のパソコンにインストールした。

## 3) その他の整備

### (1) e-ラーニングシステムを活用した自己学習環境の整備

#### ① 映像コンテンツのe-ラーニング環境の整備

看護学部では平成25年度より、医学映像教育センター社製の医学・看護・保健分野の学術映像コンテンツ配信システム「VISUALEARN4.6」を導入し、授業や自己学習に活用してきた。これまで順次コンテンツを追加してきたが、サーバータイプを採用していたため、学内LANにつながったパソコンでしか視聴することができず、学生から場所や時間を選ばずに視聴できる環境を整備してほしいという要望が出ていた。そこで、本システムを、次年度よりク

クラウドを利用した配信方式に切り替え、学外でも視聴できる環境を整えた。導入したコンテンツは下記のとおりである。

- ・ 既購入コンテンツ 172 巻
- ・ 新規導入コンテンツ 14 巻
  - 看護のためのアセスメント事例集(第 2 版) 全 12 巻
  - わかる!できる!バイタルサイン測定 全 2 巻

#### ②国家試験対策の e-ラーニング環境の整備

看護師・保健師・助産師国家試験対策の自己学習環境として、学外でも利用可能な e-ラーニングシステムを引き続き導入し、活用を促した。

- ・ 系統別看護師・保健師国家試験問題 WEB (全学生対象)
- ・ e-ラーニング N プラス助産師 (助産コース 4 回生対象)

#### (2)視聴覚教材の充実

授業や自己学習に活用できる視聴覚教材として、下記を購入した。

- ・ DVD「終わりのない生命の物語 7つのケースで考える生命倫理」全 7 巻
- ・ DVD「終わりのない生命の物語 2 5つのケースで考える生命倫理」全 5 巻
- ・ DVD「小児在宅ケア」全 2 巻
- ・ DVD「難病地域ケアシステムと教育研修」
- ・ DVD「目で見る公衆衛生」全 6 巻
- ・ DVD「見て知るリハビリテーション看護」全 10 巻
- ・ DVD「精神疾患・障害の基礎知識 VOL.1 精神機能と障害」
- ・ DVD「DVD を用いた精神科シミュレーション学習」全 7 巻

#### (3)臨地実習のための備品の充実

##### ①実習用電子カルテ端末の更新

主要実習施設である高知医療センターの電子カルテシステムの更新に伴い、実習用の電子カルテ端末 8 台の更新を行った。

##### ②助産看護実習

助産看護実習時の学習補助教材として、医学書院の e テキスト「助産学講座シリーズ」全 10 巻を 5 セット購入し、タブレット端末にインストールして臨地で活用できるようにした。